

疑問にお答えします。

ファンドからの出資を受けるとどんなメリットがあるの？

自由度の高い資金を調達することができ、財務体質の強化が図られるほか、サブファンドからの経営支援を受けることができます。さらに、これまで出資を受けた事業者からは、「官民ファンドの支援を受けることによって、対外的信用力が高まり、営業面でもプラスになった」との声も挙がっています。

出資以外の支援はどのようなものがあるの？

出資を受けるためには、詳細な事業計画と収支計画の作成が必要です。このような計画の内容については、サブファンドのアドバイスを受けることができます。

さらに、出資を受けた後も、サブファンドから、経営を改善するためのアドバイスを受けることができます。

このように、サブファンドが計画作りから新会社での事業開始後の経営相談までサポートします。

このほか、新商品開発や加工・販売施設等の整備等を行う際には、6次産業化ネットワーク活動交付金の補助や融資の支援を受けることもできます。

必ずパートナー企業と連携して会社を立ち上げないといけないの？

加工や販売のノウハウをすでに持っているのであれば、パートナー企業の出資は必ずしも必要ではありません。農林漁業者のみが出資し、加工及び販売を行う会社を立ち上げるといってかまいません。

そうはいつでも、出資するには現金が必要となるのでは？

通常は、出資はお金を払い込むことによって行われますが、現金以外でも出資することができます。いわゆる現物出資です。例えば、すでに取得している加工及び販売のための設備を出資に充てることができます。

そもそも、株式会社を作るのは大変そう。

商号や事業目的を考え、定款を作成し、設立登記を行うといった手順がありますが、会社設立にあたっては、6次産業化プランナーのサポートも受けられます。

加工・販売を受け持つ会社に出資してもらえるのは分かったけど、生産を受け持つ農業経営体にも出資してほしい。

農業法人投資育成制度の活用をご検討ください。農業法人投資育成制度は、自己資本の充実や成長発展に向けた取組を図ろうとする農業法人に対し出資を行うものであり、この制度を活用して、収益性が高く、安定的に原料を生産・出荷できる生産体制の構築に取り組むことが可能です。

農林漁業成長産業化ファンドにご関心があれば、是非、最寄りの地方農政局・支局までお問い合わせください。その後、ご希望に応じて、サブファンドをご紹介します。

お問い合わせ先：農林水産省食料産業局産業連携課 電話番号：03-6744-2076

(サブファンドによる審査の結果、出資が行えない場合があります。)

農林漁業者、農協、漁協、 森林組合等の皆様へ

農林漁業成長産業化 ファンドの御案内

さらなる事業展開のため、農林漁業成長産業化
ファンドを活用してみませんか？

農林水産省

サブファンドとは？

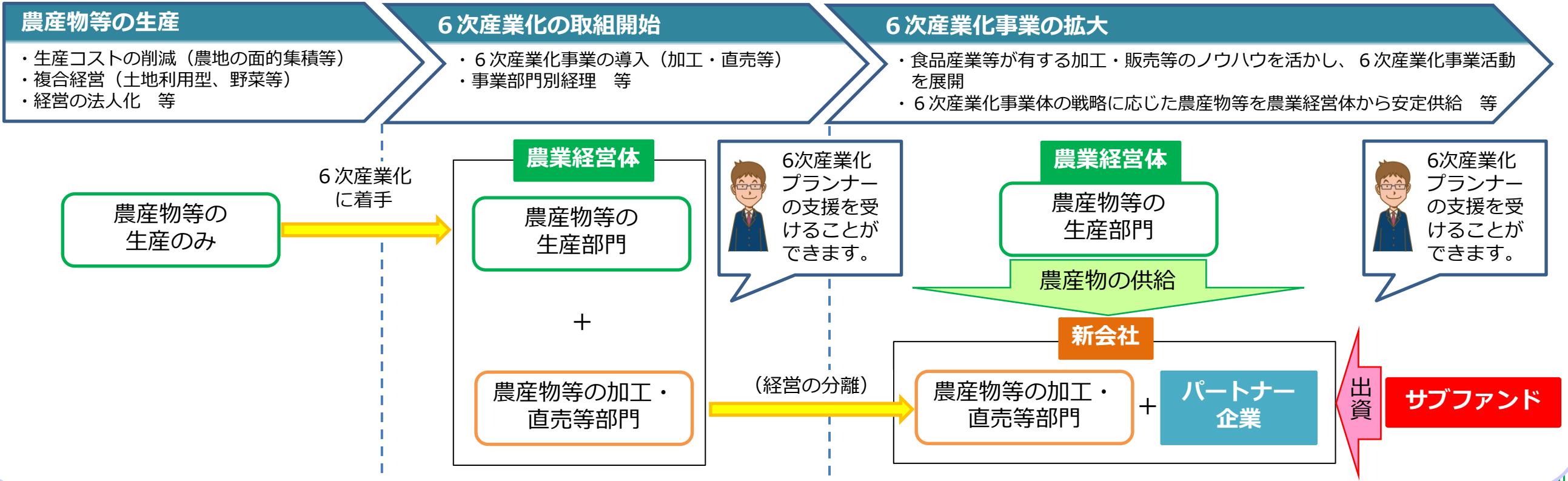
国と民間企業が出資した(株)農林漁業成長産業化支援機構(A-FIVE)と地方銀行等の出資により各地域に設立されたファンドです。

ファンドの出資って補助金と違うの？

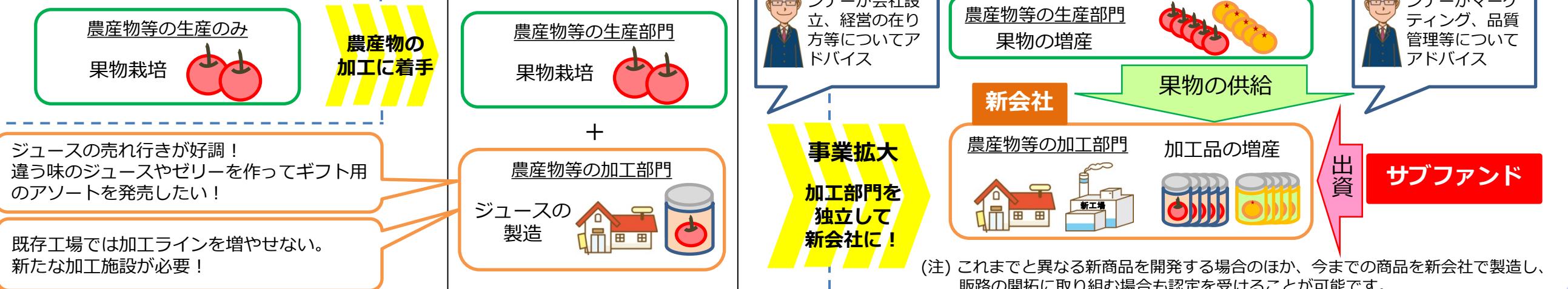
出資は補助金とは異なり、使用目的が限定されません。運転資金でも、人件費でも、設備投資でも、事業を行うためであれば、自由に使うことができます。

なお、サブファンドは、投資期間終了時に、株式を売却し出資を回収することとなります。その際は、事業により蓄積した自己資金を元手にした自社株買い等の対応が必要となります。

農業経営の発展と6次産業化の展開



例えば・・・



事業を拡大するために、資金を確保したい、パートナー企業を探したい方は、まずはお近くのサブファンドの説明を聞いてみませんか？